

りっこう 陸閘操作訓練を実施しました

4月19日(水)に、河川管理者である国交省と自治体を中心とした関係機関と合同で陸閘の操作訓練を行いました。当日は遠隔操作(一関遊水地集中管理センター)による開閉訓練のほか、機側での直接操作による開閉を実施し、動作確認や関係機関との連絡体制を確認しました。

中里陸閘



担当操作員と一関出張所職員合同で、内部も念入りにチェックします。

平泉陸閘



門扉閉鎖時、しっかり閉まりきるか、異常箇所はないか全員で確認します。

結果、両陸閘とも異常なしでした。



陸閘の役割とは

陸閘とは、堤防を切って設けられた河川への出入り口を閉鎖する門のことです。普段は、河川敷内へ直接通じる道として使用できますが、洪水が予測されると陸閘の門が閉められ、堤防としての役割を果たします。



通常時は、市街地から河川敷、遊水地内へ通り抜けることが可能です。

大雨により、水位の上昇が予測されると...

●●の水位が、Omまで達し、上昇が見込まれるため▲▲陸閘を閉鎖します。

関係者へ通達

一関出張所



門扉が閉められ、堤防として機能します。

バックナンバーはこちら→http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/syuttoujyo/itinoseki/2023/2023_ichinoseki.htm

編集後記

来る出水期に向け、今後も各施設の点検が予定されています。ご理解とご協力をお願い致します。また5月には水防演習を予定しております。一般の方々もご覧になれますのでぜひお越しください。(い)